



部屋の仕様についてLSAの説明を聞く、市内自治会の役員

「津波避難ビル」として認定された
駅前団地1号棟



シルバーハウジング 市営駅前団地オープニングセレモニー

JR伊達紋別駅前地区に市営住宅が完成し、9月の入居開始直前の8月30日、関係者が参加し、オープニングセレモニーが開催されました。

これまでの公営住宅とは違い、今後さらに進展する超高齢化社会を見据え、高齢者の方が安心して暮らせるよう住宅設備や仕様に特に配慮、市と委託契約を結んだ市社会福祉協議会が派遣するLSA（生活援助員）が常駐し、高齢者向けの福祉サービスを提供する「シルバーハウジング」仕様の公営住宅です。

また、施設には地域の方との交流の場としてテーブルやベンチを設置した共有スペースが用意されているほか、屋上には津波対策として370人が避難できるスペースを確保しています。

子育てを強力にサポート 『うす児童クラブ』開設

9月1日、有珠小学校内に『うす児童クラブ』が開設されました。同校に通学する児童を持つ保護者から要望書が提出され、市がそれに応えたものです。

地域住民に対して市が実施したアンケート調査の結果、来年4月には同クラブの入所者数が10名に達する見通しから、先行して開設する運びになりました。

同クラブは、現在利用されていない教室を利用。常駐する指導員が保護者の子育て支援と共同生活を通して子どもたちの健全育成に努めていきます。



児童は自由遊び時間に大好きな遊具で楽しみます

菅田監督・島崎校長と一緒に来庁した選手たち



伊達中学校サッカー部 「第43回全国中学校サッカー大会」ベスト16

伊達中学校サッカー部が8月19日から茨城県で開催された全国大会に出場し、ベスト16の成績を収めました。3年ぶり2度目の出場は、3対1で初戦を突破、全国大会で初勝利を挙げました。

惜しくも2回戦で敗退しましたが、8月27日、選手5名が市長を訪問し、結果を報告しました。

小山内健太主将は「良い経験をすることができました。これからの試合へ向けて今まで以上に練習していきます」と決意を新たにしていました。

関内小学校「とうもろこし収穫・販売活動」

関内小学校では毎年、学校農園で育てたとうもろこしを収穫し販売する活動を行っています。お金を得ることの大変さ、支えてくれた人たちへの感謝など、人と人とのつながりを学ぶ同校独自の活動です。

9月12日、全校児童29名で収穫を行い、茹でたものと生のものを3年生から6年生までの児童がくみあいマーケットの前で販売。「いらっしゃいませ!」「ありがとうございました!」と元気な声で接客していました。



今年も美味しい実がなりました

笑顔で接客する市職員（右）



3年次職員民間企業等体験研修

市職員としての採用から3年目。市役所の仕組みや職場にも慣れ、自分らしさを発揮し始めるこの時期に、市では民間企業での体験を通して幅広い視野を持ったもう一段階上の職員を養成する。そんな狙いで、9月6日から21日まで、3年次職員9名を対象に職員研修が行われました。

研修先は、市観光物産館を管理する(株)伊達観光物産公社。参加者は、実際に接客や商品販売などサービスの現場で、職員としての資質向上に努めました。



Qちゃんファーム感謝祭 おおたき de 森林浴ジョギング

9月16日、大滝総合運動公園で『だて秋の大収穫祭』のトップを飾るイベント「Qちゃんファーム感謝祭」が開催されました。

大滝区で農業を始めて3年目を迎えた、シドニーオリンピック女子マラソン金メダリストの高橋尚子さんがQちゃんファームで収穫した多くの野菜と地場産品が並んだ即売会に、多くの人を訪れました。

同じく第3回を迎えた「おおたき de 森林浴ジョギング」には、ゲストランナーの高橋さんと370名が参加。

朝に降った雨で足下はぬかるんでいましたが、参加者は元気よくゴールへと飛び込みました。



勢いよくスタートする参加者



Qちゃんと仲良く一緒にゴール